

## 世界各地で31万人が日本語能力試験に挑戦！7月6日(日)、 インドネシア、マレーシアの応募者数は5割以上の伸び

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)は、7月6日(日)に海外23の国と地域の105都市で、日本語能力試験(JLPT)を実施します。日本語能力試験は、今年30周年を迎える、日本語を母語としない人を対象とした世界最大規模の日本語能力を測る試験です。

### 2014年第1回(7月)日本語能力試験の概要

- 【実施日】:** 2014年7月6日(日)  
**【実施都市】:** 海外 23 の国・地域 105 都市、日本国内 45 都道府県  
\* 国際交流基金は海外分を、公益財団法人日本国際教育支援協会が日本国内分を実施  
**【応募者数】:** 約 31.3 万人(海外 約 24 万人 / 日本国内:約 7.1 万人)  
**【実施レベル】:** N1 ~ N5 の 5 レベル (N1 が最も難易度の高いレベル)  
\* レベル毎の認定(合格)の目安は、下表参照

**東南アジアで応募者数が32%の伸びを示しました。**

**国別に見ると、マレーシアとインドネシア50%以上、ベトナムでも30%以上の伸びが見られました。**

国際交流基金の「2012年度 日本語教育機関調査」の結果でも、これらの国々では、前回の2009年度の調査時に比べて、日本語学習者の数がいずれも伸びていますが、今回、日本語能力試験の応募者が増えた背景について、国際交流基金では次のとおり分析しています。

- インドネシア** : ジャカルタ、スラバヤ、マナド 3都市で実施。応募者数計 5,834名(前年応募者 3,851名、51%増)  
 大学での日本語学科において卒業までにN3レベルの受験を推奨(8月の卒業前として7月受験)  
 日系企業に勤務する社会人が昇進・昇給のために受験しているが、これらの層も増。  
 これらの需要に応えるため、スラバヤで初めて7月に試験を実施し、受験環境が向上。
- マレーシア** : クアラルンプール、ペナン 2都市で実施。応募者数計1,219名(前年応募者 803名、52%増)  
 中等学校(日本の中学・高校に相当)から学校単位でN5レベルの団体受験が増。
- ベトナム** : ハノイ、ホーチミン、ダナン 3都市で実施。応募者数計 19,210名(前年応募者 14,086名、36%増)  
 日系企業の増加、日本留学希望者の増加に伴い、大学生、社会人の受験が増

日本語能力試験 レベル別の認定(合格)の目安	
N5	基本的な日本語をある程度理解することができる。
N4	基本的な日本語を理解することができる。
N3	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。 <small>活用例: 日ベトナムEPA: 看護師・介護福祉士候補者の選考基準</small>
N2	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。
N1	幅広い場面で使われる日本語を理解することができる。 <small>活用例: 高度人材に対する日本出入国管理上の優遇制度でのポイント付与              厚生労働省所管の医師国家試験、准看護師試験等の受験資格認定</small>

**本事業に関するお問い合わせ:** 国際交流基金 日本語試験センター(担当:小長谷)

Tel: 03 - 5367 - 1021 / E-mail: jlptinfo@jpf.go.jp

**ご取材に関するお問い合わせ:** 国際交流基金コミュニケーションセンター 担当:川久保、麦谷)

Tel: 03 - 6825 - 3020 / Fax: 03 - 5572 - 6065 / E-mail: press@jpf.go.jp